

1. 目的

1) 佐渡市は国内最大の離島であり、「朱鷺との共生」に向けて“エコ・アイランド”を志向し、減農薬・減化学肥料などにより、“生物多様性型農業”を積極的に推進している人口6万人の中規模の地方都市である。

2) 佐渡市内に設置されている“CIS系薄膜太陽電池技術”適用システム視察する。

3) それを通して、既存の化石燃料を使用したエネルギーコストが極めて高額になる離島において再生可能エネルギーを積極的に使用することにより、エネルギーコストとして島外に流出して行く島内資金を島内に留め還流させることで島内経済の基盤強化と発展に役立てる事業モデルを考える機会とし、意見交換する。

4) 佐渡市は朱鷺がいるために太陽光発電システムを中心することになる。この太陽光を社会実装するために必要な事項を考え、日本国内だけでなく、世界に向けても展開できる事業モデルについても意見交換する。

1

2. 視察対象施設(案)

日	視察対象	概要
10/14 (金)	朱鷺の森公園	・朱鷺を間近に見ることができます。
	尾畑酒造本店	・尾畑酒造本店本蔵見学。
	旧西三川小学校 (学校蔵)	・尾畑酒造の学校蔵「プロジェクトでの酒造り見学」。 ・酒造りとの組み合わせでの太陽光発電システムからの電力の 利活用(ソーラーフロンティアのCIS 10kW使用)。年間電力消費 量の約30%を発電。余剰電力売電。 ・分科会(旧教室で開催)。
10/15 (土)	ZEH	・佐渡市内に普及するためのモデル住宅見学。CIS 0kW設置。
	佐渡金銀山・産 業遺産	・世界遺産登録を目指す金銀山施設で、“江戸幕府の賢さ”“愚 直さ・実直さ”など(先人の知恵)を学ぶ機会になればと思います。 ・産業遺産も興味深い歴史を学ぶ機会であり、現在苦境にある “三菱の力”を感じる機会になります。世界遺産に登録される前 に見ておくことは良いと思います。
	鷺崎ソーラー シェアリング	・系統接続が完了し、順調に発電しており、現在葱の植え付けを 開始。ここでは太陽光システム設置前と同じ野菜を栽培し、遮光 率の違いで野菜の生育がどう影響されるかを検証します。 ・太陽電池モジュール間にすき間を空けており、それなりの日射 量が確保できる環境。ソーラーフロンティアのCIS10kW使用。

2

3. 佐渡市内のCIS太陽光発電システム視察サイト

・「低炭素地域コミュニティづくり」に貢献することで、
“環境に優しく住民が誇りにできる”地域風土を創生し、「地方の活力」を伸ばし育てる事業を続けることで、佐渡市のエネルギー自立へ繋げる道が見えて来ると確信している。

ゼロエネルギーハウス
省エネルギー技術利用
再生可能エネルギー利用

尾畑酒造株式会社との
共同研究、地域産業との
連携、地域エネルギー供給
ビジネス検討



鷲崎

一般社団法人『鷲崎から始める佐渡を育てる会』との共同研究太陽光発電と農作物のソーラーシェアリング

両津港

佐和田

西三川

4. 基本情報

(1) 集合及び解散場所

- ・初日の集合場所、翌日の解散場所：両津港（佐渡汽船）。
- ・集合場所までの交通手段：各自で手配。
- ・新潟港から両津港への移動：ジェットフォイルで。（時刻表は添付資料を参照。ネット予約で割引あり。） 佐渡汽船HP: <http://www.sadokisen.co.jp/>
- ・初日の昼食：両津港到着までに船内で、又はその前に各自済ませる。

(2) 宿泊先

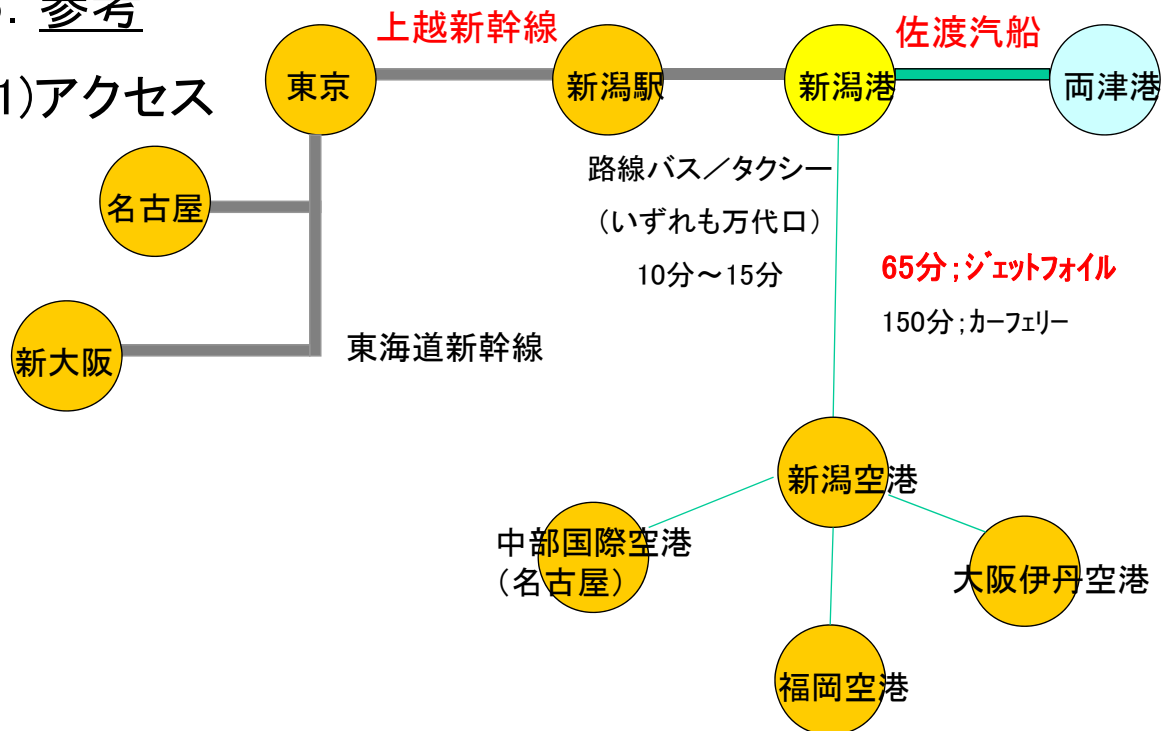
- ・宿泊先：「Ryokan浦島」（佐渡）（20名で確保済み。人数の最終確認必要）
- ・所在地：新潟県佐渡市窪田978-3（TEL：0259-57-3751）担当：須藤めぐみ
info@r-urasima.com

(3) 現地の移動手段

- ・ホテルのマイクロバス（確保済み。人数の連絡必要）。
- ・初日の集合場所（両津港）から翌日の解散場所（両津港）まで、全行程、このバスで移動予定。（費用は分担？）。

5. 参考

(1) アクセス



必要な方は時刻表を確認願います。

8

(2) ジェットfoil 時刻表

■ 新潟港 ↔ 両津港 (所要時間65分)

◆ 新潟発

07:55→09:00
09:40→10:45
▪ 11:30→12:35
12:50→13:55
14:55→16:00
16:25→17:30

◆ 両津発

07:20→08:25
09:25→10:30
11:15→12:20
13:25→14:25
14:25→15:30
▪ 16:25→17:30

9

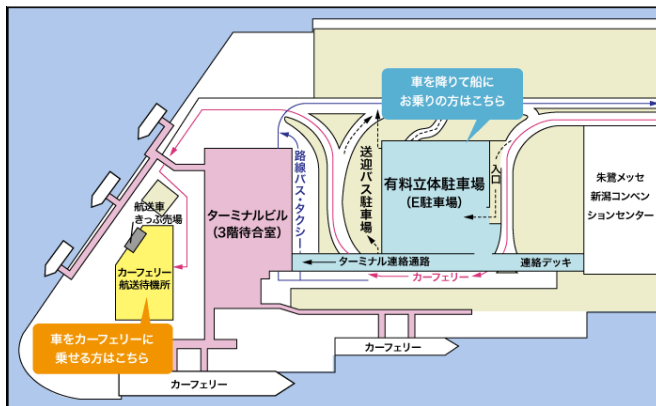
(3) 佐渡MAP



佐渡観光マップ



(4) 新潟港/両津港 MAP



新潟港



両津港

▲: 待合せ場所